

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 1 年 10 月 28 日

事業所名 児童発達支援事業所 なないろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	集団支援において、少人数での2部屋分割支援を実施。	行事などは公共施設を利用。 5階に新たな支援室を設置。
	②	職員の配置数は適切である	5			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1		
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		第3者による外部評価は、法人として今後も予定していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	園内で各々の支援を研修する。	園内研修をもっと取り入れる。
適切 な 支 援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		些細なことでも共有するよう心掛けている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2	行事の際に、兄弟に積極的に参加してもらう。	並行して通園されている施設に交流を委ねる。
	㉓	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1		
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	1		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉖	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	㉗	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	㉘	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			
	㉚	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		特に必要性は感じないので、今後も考えない。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1		今年度も実施する予定である。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		外部の研修に職員を派遣する。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2		虐待はいかなる場合においても行わない。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

公表：令和 1 年 10 月 28 日

事業所名 児童発達支援事業所 なないろ 保護者等数（児童数） 43名 回収数 36名 割合 84%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	7	1		共有スペースがもう少し広いと子供が遊びやすいです。イベント時は少しせまいと感じること……。もう少し広がったら良い。グループ活動をするには、少し部屋がせまく感じる。大人数のグループでは狭いこともある。	多人数グループでは、支援内容によって、少人数ずつ2部屋にわけて支援を実施する。グループ支援において、今後は参加制限（契約制限）も考える。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	34	1		1	専門性の高さが、素人にも伝わるレベルである。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	1	1		玄関の前の段差が気になる。	テープで目立つようにしていますが、利用者様もご注意をお願いします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36				手拭きペーパー・ハンドソープがあり、助かります。	今後も継続します。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	34			1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29		1	5		

	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	4		2			
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	1	1	3	興味を引き出す遊び方を熟知されていると感じる。		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	8	8	5	ろう学校でよく交流の機会があるため、特に必要ないと思います。	当園でも同様に考えています。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	5			1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	3	1		2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	8	1	1	6		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	5			1	気づきレベルが高く、細部に渡り子供の成長を支援して下さっている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	4	1		1	担当の先生、園長先生ともにもいつも相談にのっていただいています。非常に親身になって下さり心の支えとなっている。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	7	4	1	4	保護者同士では今のところないですが、子供同士ではもうちょっとイベントなどの交流が欲しいです。情報提供の機会が多く、親も勉強になります。	

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3 4	1		1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3 5	1			細部に渡り、よく子供を観察して下さっている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2 8	1		7	ホームページでは無いですが、いつも園に来た時、園長先生や他の先生から直接聞かせてもらえるので助かります。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3 5			1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1 9					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	6	1	1 7	まだ通い始めなので訓練できていません。	グループ支援時に実施する予定です。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3 5	1			お勉強が最近は嫌みたいで行くのを渋っている。先生に会うと、とても喜び楽しく通園出来ている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3 6				通園日・時間等に配慮して頂き感謝しています。とても満足しています。ぜひ、小学部もお願いします。こちらに通うようになって物の理解や言葉が増えました。	ありがとうございます。これからも満足していただける支援を提供できるように、職員一同精進してまいります。今後とも、ご協力よろしくお願いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。